

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値
052035_横手市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	学校が抱える課題を明確化し、その課題を解決するために、どのように地域と連携・協働していけばいいかイメージできない。	教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター長を対象とした市独自のCS研修会を開催し、参考となる取組み事例の共有や意見交換を実施した。	教職員、地域学校協働活動推進員、地区交流センター職員、地区交流センター運営協議会委員を対象として、学校、地域双方の課題や取組みを共有する意見交換の場を設ける。	学校、地域が連携・協働した事業に取り組むことができる。	市独自のCS評価書の項目2-1「地域住民が参画し、協働活動が行われている」の各校の平均値	2.9	その他	3.2
052035_横手市	①学校運営上の課題	社会に開かれた教育課程への対応	地域住民にコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に対する認知が不足している。	地区交流センターと連携しセンター報等で周知したほか、地区交流センター等において学校運営協議会を公開実施した。	地域住民が気軽に学校を訪問する取組み等を実施し、学校や児童生徒が地域住民と交流を図るとともに、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動に接する機会を設ける。	地域住民がコミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の取組みを知っている。	市独自のCS評価書の項目5「コミュニティ・スクールに関する情報発信について」の各校の平均値	2.7	その他	3.0